

令和6年度 第4回 北部公民館運営審議会  
議事録

日	時	令和6年12月17日(火)
		午後2時58分～4時54分
会	場	船橋市北部公民館 講堂

午後 2 時 5 8 分開会

○朝隈委員長

ただいまより、令和 6 年度第 4 回北部公民館運営審議会を開催いたします。

事務局より諸事項の確認がありますので、お願いします。

○事務局（北部公民館長補佐）

配付資料の確認をお願いします。事前にお配りさせていただきました本日の北部公民館運営審議会資料の事業報告と事業計画。そして、社会教育関係団体登録資料であります色表紙の新規団体登録申請一覧、新規団体の登録申請書写しでございます。あと、館報のほかに追加資料として、「まなびの風」78 号と 79 号を配らせていただいておりますので、お時間があるときにご覧いただけたらと思います。それ以外のものとしては、席次表を置かせていただいております。

では、続きまして、本日の会議の開催要綱について申し上げます。海老原委員、前田委員のお二人から欠席の連絡をいただいております。本日の審議会は委員 10 名中、8 名のご出席をいただいておりますので、船橋市公民館条例施行規則第 15 条第 3 項の規定によりまして、半数以上の出席がございますので、この会議は成立いたします。

会議の公開につきましては、船橋市情報公開条例第 26 条及び船橋市附属機関等の会議の公開実施要綱の規定により、当審議会も原則公開になります。議事録作成のため会議の内容を録音させていただきますので、あらかじめご了承いただきたいと思っております。また、議事録につきましても、後日、ホームページで公開となりますので、よろしく願いいたします。

本日の議事（3）につきましては、船橋市情報公開条例第 7 条第 1 項第 2 号に基づく不開示情報を審議することから、同条例第 26 条第 2 号に該当するため非公開となります。議事（3）の資料につきましては、会議後に回収いたします。

それでは、議事に入ります。議事進行は、船橋市公民館条例施行規則第 15 条第 2 項の規定により、委員長が議長となります。それでは、朝隈委員長、議事進行をお願いいたします。

○朝隈委員長

本日の傍聴のお申し出はございません。

では、議事に入ります。本日の議事はお手元にある資料のとおりでございます。

議事（1）についてですが、事業報告については事業内容を事業計画のときに既に説明しているため、結果について報告を要するものに絞るようお願いいたします。

議事（1）「事業報告（令和 6 年 9 月 17 日～12 月 16 日）」について、北部公民館より順次ご説明をお願いいたします。なお、ご意見、ご質問等につきましては、8 公民館の説明終了後に受けたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、北部公民館さんからよろしく願いいたします。

○北部公民館長

北部公民館です。9月17日から12月16日の事業報告について、主なものについての報告、また、参加者が未記入のものについて、ご記入をよろしくお願いいたします。

まず、報告1、青少年事業、「ふなばしハッピーサタデー事業」の12月7日の人数が空欄となっておりますので、記入をお願いいたします。合計で4名、内訳として男性3名、女性1名となります。

続きまして、次ページです。報告2、成人事業「菊づくり講習会」になります。こちらは、4月から事業の開始をしまして、合計で13回の講習となりました。

参加者ですが、文化祭の出展を予定しておりまして、皆様熱心に取り組んでいましたが、昨年と同様に今年は夏の異常気象の関係で花の開花がうまくいかない方が多くて、実際に11月の文化祭の出展も少なかったことは残念に思います。しかし、菊づくりについて一から一通り学習することができたということで、参加者の方からは、「大変勉強になりました」と肯定的な意見をいただくことができました。

続きまして、参加者人数の記入を2つほどお願いいたします。「歴史講座（江戸時代編）～蔦屋重三郎の生涯とその時代背景～」の12月8日、こちら合計が13名、内訳として男性8名、女性5名となります。

続いて、「古文書をよむ～初めてのくずし文字～」、12月6日です。合計で5名、内訳は男性が3名、女性が2名となります。

続いて、次ページです。報告3、「相続を考えるシリーズ～相続対策とは？～」になります。こちらファイナンシャルプランナーによる相続に関する講座でございます。講義終了後に参加者から積極的に質問が飛び交うなど、高評価の事業となりました。また、日曜日に開催したことで、50代の参加者が2名いたこともありまして、新たな利用者層の開拓につなげることができました。

続きまして、その下の「世界を知ろう 世界の食文化体験」になります。こちらの事業は、第三次船橋市生涯学習基本構想・推進計画、通称「ふなばし一番星プラン」に掲げられております共生社会の実現のための取組として、食文化を通じて異文化の交流を図る内容となります。また、実際、事業のほうですけれども、1組4～5人のグループで調理をすることで、参加者同士の交流も図ることができましたので、次年度以降も継続して実施できるよう検討してまいります。

続きまして、「就学時健診等における子育て学習」になります。多くの保護者が参加する就学時健診を利用して子育て学習を実施することで、家庭教育の向上を図る目的で行っております。今年度は「子育て・親育ち」というテーマで講話をいただきまして、参加者からは肯定的な意見が多く寄せられました。また、アンケートで親同士の会話を望む意見がありまして、次年度の参考といたします。

続きまして、次のページです。報告4、高齢者事業「介護予防教室～学んで動いて健康維持～」になります。皆様もご存じだと思いますけれども、北部地域は高齢化率が非常に高い

地域でありまして、地域の課題として高齢者の孤立、外出機会の喪失などが挙げられていることから実施したものでございます。内容としましては、第一興商を講師に招きまして、カラオケの通信機器を利用した運動を行うことで、参加者は、実際に人数的には少なかったのですが、皆様楽しんでいる様子をうかがうことができましたので、介護予防教室については次年度以降も継続していきたいと考えております。

続きまして、ページが飛びますが、報告6、「第47回豊富地区連合町会体育レクリエーション大会」になります。こちらは豊富地区連合町会との共催事業となりまして、昨年を引き続きアンデルセン公園でのウォークラリーを行いました。当日は、豊富地区連合町会の協力もありまして、130名の参加があり、子供から高齢者まで楽しんでいる姿が見られました。今後についても地域の資源を利用した事業を行っていく予定でございます。

続きまして、報告7、人数の記入をお願いいたします。「卓球開放」の12月14日は、合計で9名、内訳としまして男性3名、女性6名となります。

続きまして、次ページになります。報告8、「北部地区8公民館合同事業～アキラボーイとタヌキくんのデジタルショー～」になります。先日の日曜日に実施された事業となります。テレビで活躍されている芸人のアキラボーイさんに来ていただいて、実際に見に来た子供たちが参加できる形の講演会となりまして、大変盛り上がった事業となりました。

こちらの募集人数ですけれども、当初120名で募集したところ163名の応募がありまして、大変人気の事業となりました。各単独館での実施は、職員の数も少ないことから、難しいことと、参加者の方も非常に喜んでくれたことから、また次年度以降も内容を検討して実施していきたいと考えております。人数のほうは、当日参加人数が合計で97名、内訳としまして男性が43名、女性が54名となります。

最後に「サークル見学・体験」事業になります。コロナ禍以降、船橋市内のサークルの減少が顕著でありまして、船橋市の公民館全体の課題となっております。こちらの課題解決の一つとしまして、サークルの人数を増やすということで、サークルの見学と体験会を実施した形となっております。こちらについては、広報ふなばしにもサークル見学ということで記事を載せております。

北部公民館の参加人数が4名と少なかったのですが、ただ、4名のうち1名から実際にサークルに加入していただくこともできましたので、協力していただいたサークルからは、大変うれしかったということで、好評な意見をいただいておりますので、またサークルの支援は公民館のほうで実施していきたいと考えています。

北部公民館からは以上となります

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、二和公民館さん、お願いします。

○二和公民館長

二和公民館の9月17日から12月16日までの主な事業について、ご報告いたします。

最初に青少年対象の「ふなばしハッピーサタデー事業」になります。10月は船橋市スポーツ推進委員会二和地区の皆さんの指導による「ドッジビー大会」、11月は高野太鼓の皆さんの指導による和太鼓体験を実施しました。なお、12月14日開催の「こども映画会」の参加者数は、男16、女37、計53名となりましたので、ご記入のほどお願いいたします。

次に成人対象になります。「三咲小学校PTA家庭教育セミナー」、こちらは保護者を対象とした防災教室と、児童を含めた公開講座として健康講座を行いました。12月12日の参加者数ですが、男74、女86、計160名となりましたので、ご記入のほどお願いいたします。

次のページに移りまして、「防災講座」になります。こちらは北図書館との共催事業になります。「災害への備えを楽しく学ぶ」を目的に小学生親子によるシェイクアウト、バケツリレー、救護搬送を運動会形式で行いました。開催時期がスポーツの日にかかる3連休の中日ということもありまして、参加者数は定員に達しませんでしたけれども、地域の防災意識の高揚を図るためにも継続開催を考えております。

次の「歴史講座」では、成田街道における船橋と佐倉の関係について、座学の後、晴天の中、佐倉市の散策を行いました。

次のページに移りまして、二和そばの会による「そば打ち体験」です。2回目の参加者数は、男2、女3で、計5名となりましたので、ご記入のほどお願いいたします。

次に高齢者対象の「二和寿大学」、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室 月曜コース」と次のページに移りまして、「火曜コース」を記載のとおり実施いたしました。なお、前ページに戻りまして、「シルバーリハビリ体操教室 月曜コース」の参加人数ですけれども、12月9日開催分は、男17、女50、計67名となりましたので、ご記入のほどお願いいたします。

次のページに戻りまして、北部保健センターとの共催になります「健康講座」です。保健師による講話と健康運動指導士によるセルフケア体操の2部構成で行いました。全参加者から好評を得たことから、次年度も継続して行うことを検討しています。

次の「二和地区社会福祉活動支援事業」の12月16日開催分の「ミニデイ（新舞踊鑑賞会）」の参加者数になります。男5、女63、計68名となりましたので、ご記入のほどお願いいたします。

次のページに移りまして、複数対象です。「巡回児童ホーム事業」、「子育て支援事業 にここ広場」を記載のとおり実施しました。

次のページに移りまして、「二和名画座」の12月12日開催分の参加者数になります。男22、女106、合計128名となりましたので、ご記入のほどお願いいたします。

次の「二和劇場」では、9月にテノール、ソプラノ、ピアノによるオペラコンサートを、11月は親子を対象とした腹話術とマジックショーを行いました。

次のページに移りまして、「第50回二和文化祭」です。今年度は展示が5団体、発表が23団体、模擬店が1団体、また各日3台のキッチンカーの出店など、子供からご年配の方まで

2日間にわたり賑わいを見せ、地域交流とサークル活動への理解を深めることができました。

最後に、二和地区社会福祉協議会との共催による「ふたわ福祉まつり」になります。今年度はコロナ禍前と同様に館内全てを会場とする形で実施しました。当日は民生児童委員はじめ多くのボランティアさんの参加により、来館者に対して地域福祉について理解を深めてもらうことができました。

二和公民館からは以上です。

#### ○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、海老が作公民館さん、お願いします。

#### ○海老が作公民館長

海老が作公民館の事業報告についてご説明を申し上げます。

まず、青少年事業でございますが、「ふなばしハッピーサタデー事業」を11月と12月に開催いたしました。12月の人数の記入をお願いいたします。全体で9名、男3、女6でございます。この9人のほかに、講師であります北部地区子ども会連絡協議会の関係者のお子様も参加して、皆さん楽しそうに遊んでいるところが見られました。また、これとは別ですが、当初事業計画に記載しておりました「お泊まりクリスマス事業」を北部地区子ども会連絡協議会さんとの共催で行う予定でありましたが、人数が集まらないということで、こちらについては、子ども会連絡協議会さんの単独事業として公民館でクリスマス事業を行ったということでしたので、今回の事業報告書からは削除してございます。

次に成人事業でございます。「筆ペン講座」は、昨年の「写経入門講座」から受講者のもと基礎を学びたいという希望を受けて今回実施したものでございます。また、実施日についても、木曜日の午前中から土曜日の午前に変更することによって、新たな参加者を発掘することを試みました。実際に数名ですが、50代の方の参加がございましたので、今後も少し工夫をしてやっていきたいと思っております。

次にページが変わりまして、報告の3ページ、高齢者事業でございます。「ふなばしシルバーハビリ体操教室」の一番下、12月分の人数の記入をお願いいたします。全体で29名、男6、女23でございます。他の事業については記載のとおりでございます。

ページが変わりまして、報告4ページ、複数対象事業でございます。「ファミリー卓球」の12月の項目は次回の報告事業でございますので、申し訳ございませんが、こちらからは削除をお願いいたします。

「巡回児童ホーム事業」でございます。「0.1.2歳ぽかぽか広場」の9月27日実施分につきましては、当日朝から雨模様になっていたということもございまして、参加者が0ということになってしまいました。今後もししたら皆さん来ていただけるのかということを経営者と共同で考えていきたいと思っております。

次に「クリスマスコンサート」の人数ですが、ご記入をお願いいたします。全体で119名、

男 23、女 96 でございます。

ページが変わりまして、報告 5 ページの一番上、「子育てプレイルーム」の 10 月 6 日の人数でございます。突出して多いのですが、この日は大穴地区の社会福祉協議会さんの主催であります「大穴ふれあいまつり」が実施されておりましたので、こちらへの参加者がそのまま流れてきたということで、人数がほかに比べると多くなっております。

以上、簡単ではございますが、海老が作公民館の事業報告でございます。よろしく願いいたします。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、小室公民館さん、お願いします。

○小室公民館長

小室公民館の 9 月 17 日から 12 月 16 日までの主な事業について報告いたします。

最初に、青少年対象の「ふなばしハッピーサタデー事業」です。10 月 5 日にご覧の団体の協力を得まして、「小室こどもまつり」を実施いたしました。空のペットボトルを利用してボウリングのピンをつくったり、トイレトペーパーの芯を加工して射的の的をつくったりと、手づくり感満載のゲームをいろいろ用意しました。万華鏡、ストローとんぼ、スタンドグラスの工作やバルーンアート教室なども開き、ゲームに工作にと友達や家族と楽しい時間を過ごせたようです。ボランティア体験に参加していただいた中学生、高校生も楽しみながら手伝ってくれ、よい体験の場になったと考えています。

成人対象事業につきましては、「足裏リフレクソロジー講座」をはじめ、記載の内容で実施いたしました。

高齢者対象事業としましては、報告 3 ページに移らせていただきまして、「健康吹き矢教室」をご覧の内容で実施いたしました。こちらはサークルの結成を最終目標とし、松が丘公民館で活動している若松吹き矢倶楽部さんに講師を依頼しました。1 回目は吹き矢の基本を学び、2 回目は実践編として、得点を競い上位 3 人まで表彰し大変盛り上がりました。参加者からサークルを結成しようという話が出たのですが、費用の面などで残念ながら結成には至りませんでした。楽しみながら皆さん競技し健康増進に役立ったと思います。

続いて、複数対象事業です。報告 4 ページの一番下、「小室公民館本館家庭教育セミナー」として、12 月 7 日に「親子で手作りロールケーキ教室」を開催いたしました。参加者数は男性 5 名、女性 19 名、計 24 名となりましたので、お手数ですがご記入をお願いいたします。

続きまして、報告 5 ページ、「小室公民館文化祭『第 42 回小室文化まつり』」です。1 日目が季節はずれの台風の影響で雨となったものの、2 日目は天気も回復し、参加団体数、模擬店数、来場者数も昨年度より増えました。昨年課題となっていた子供や若年層の来場者が少ないという点も、小中学校にチラシを配布したことや、発表交流の部にキッズダンスのサークルが出演し子供の観覧者が増えたこともあり、昨年より解消できました。公民館を利用し

ている団体の日頃の成果を発表する場、また地域の交流を深めるよい機会になったと考えております。来年も子供をはじめ大人の来場者も増やせるように努めてまいります。

続きまして、「小室公民館サークル活動支援事業」です。参加者数男性8名、女性16名、計24名となりましたので、ご記入をお願いいたします。約1か月実施し、13団体が16回実施いたしました。アンケートの提出期限がまだ先なので、今現在いただいているアンケート結果となりますが、「参加者から『楽しかった』という感想をもらった」、「入会した方もいてよかった」、「よい機会だった」という声も聞かれております。ただ、文化祭やセンター日より、ホームページで周知しているものの、参加者が少なかったサークルもあり、来年度はさらに周知に力を入れたいと考えております。

次に「小室おもちゃの病院」です。12月15日の利用者数は男性0名、女性5名、計5名。依頼件数は10件となりますので、お手数ですがご記入をお願いいたします。

小室公民館からは以上です。

#### ○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、八木が谷公民館さん、お願いします。

#### ○八木が谷公民館長

八木が谷公民館の9月17日から12月16日までの事業報告について、説明させていただきます。

最初に、青少年対象の「ふなばしハッピーサタデー事業」ですが、10月5日に「理科実験工作ポンポン蒸気船」を実施いたしました。動力としまして、曲げたアルミパイプに入れた水を熱し水蒸気になる力で船が水面をスイスイと走るものです。理科工作は例年人気の事業でしたが、今回は定員割れとなってしまいました。しかし、参加した子供たちは理科に興味のある子供ばかりで、講義にも積極的に参加し楽しく理科を学ぶことができました。11月16日には「ヒップホップダンス」を実施いたしました。こちらは多くの子供たちが参加し、当日は子供たちのやる気で圧倒されるほど活気のある事業となりました。ダンスに戸惑うこともなく、2グループに分けての発表も息のあったダンスを披露することができました。

続きまして、成人対象の「八木が谷公民館本館家庭教育セミナー」でございます。まず、人数の記載をお願いします。12月12日、男0、女2、合計2名でございます。

こちらの家庭教育セミナーにつきましては、小学生の保護者を対象とした講座でございました。11月の「元気やる気のある子を育てる～心を育てる食育～」では、「具体例が多く、家でチャレンジしたいことが色々見つかりました」や、「子供と一緒に参加したかった」などの意見がありました。また、12月の「年末にスッキリ整理収納～小学生の片づけやすい部屋づくり～」では、「年末に向けて活用したい」など意欲的な意見がありました。両講座とも参加者が少なかったのが残念でした。

続きまして、報告2ページ、「デジタルデバイド対策事業」です。こちらは「はじめての

オンライン体験 Zoom 入門編」として、スマートフォンにある程度慣れている方が Zoom について学ぶための講座で、丁寧に講座を行うため、定員を 10 名と絞って募集を行いました。参加者からは「分かりやすい説明、進行でよかった」などの意見がありました。

続きまして、報告 3 ページ、「秋の八木が谷&大神保の古道を歩く」でございます。地域についての愛着と理解を深めてもらうため、二和向台駅から八木が谷公民館を經由し、アンデルセン公園まで史跡等の説明を受けながら歩くものでございます。参加者からは、「地元についてとっても参考になった」などの意見をいただきました。なお、開催後には自主的にアンデルセン公園に入園した方も多数いらっしゃいました。

続きまして、高齢者対象の「健康セミナー」でございます。健康づくり、介護予防を目的とし、10 月の「膝関節について」では、「実技を取り入れた講座で、いろいろな体操があり楽しかった」、「やっていないものも取り入れたい」、11 月の「耳の健康について」では、「とても分かりやすい説明でよかった」、12 月の「元気なお口で素敵な笑顔」では、「口の大切さを知りました」等の意見がありました。

続きまして、同じく 3 ページの「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」でございます。こちらの人数の記載をお願いします。12 月 11 日、男 8、女 28、合計 36 名でございます。

続きまして、報告 5 ページ、「第 40 回 八木が谷地区文化祭」でございます。今回は参加した社会教育関係団体は多少減ったものの、模擬店を今年度から再開するなど、賑わいがやや戻っておりました。サークルは発表や展示などで日頃の成果を発揮することができるとともに、地域での交流を行うことができました。

続きまして、報告 6 ページ、「子育てサロン」でございます。人数の記載をお願いいたします。12 月 16 日、男 5、女 8、合計 13 名でございます。

続きまして、「八木が谷公民館サークル見学・体験会」でございます。社会教育関係団体の協力を得て実施し、今回は 7 名の新規入会者が出るなど、新たな趣味の発見とサークルの増員を行うことができました。

続きまして、「卓球開放」でございます。こちらも人数の記載をお願いいたします。12 月の人数ですけれども、男 20、女 25、合計 45 名でございます。

八木が谷公民館からは以上でございます。

#### ○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、三咲公民館さん、お願いします。

#### ○三咲公民館長

三咲公民館の 9 月 17 日から 12 月 16 日までの事業報告をいたします。

青少年対象事業の「ふなばしハッピーサタデー事業」を記載のとおり実施し、空欄となっております 12 月 14 日、三咲児童ホームとの合同で「小学生冬のお楽しみ会」を実施し、参加者は 68 名、男 29 名、女 39 名でした。

次に成人対象事業です。「手作りでお正月 水引細工教室」を記載のとおり実施し、参加者からは「細かな作業が多かったけど、楽しかった」、「今回学んだ水引細工をもう一度つくってお正月に使いたい」との感想があり、好評な事業となりました。

同じく成人対象事業の「三咲地区 ピンポンを楽しむ集い」は、参加者が12名でしたが、ダブルス形式で試合を行い、リーグ戦での予選を経て順位決定戦を実施し、競う中でも和気あいあいと卓球を楽しむいい集いとなりました。

報告2をお願いいたします。「就学時健診等における子育て学習」は、大穴北小学校にて記載のとおり実施しました。「おうちクリスマスを楽しく♡お料理教室」は、参加費3,600円と公民館事業としては高めの参加費を設定しましたが、金額に見合う料理をつくることができ、参加者は大変満足をされておりました。2回目、12月6日の参加者ですけれども、女性のみ11名です。

カリンバ教室は、「カリンバでクリスマスソングを弾こう」と題し、今年は男性の参加者もいらっしまったので、昨年とはまた違った雰囲気の中、皆さん熱心に練習し、最後はクリスマスソングを演奏されておりました。2回目、12月11日の参加者は11名、男2名、女9名でした。

報告3をお願いいたします。次に高齢者対象事業となります。「認知症予防教室」及び「三咲寿大学」を記載のとおり実施しました。

「ふなばしシルバーリハビリ体操教室 第2金曜コース」及び、報告4の「ふなばしシルバーリハビリ体操教室 第3金曜コース」を記載のとおり実施し、第3金曜コース、12月13日開催の参加者は32名、男7名、女25名でした。

「デジタルデバイド対策講座」は、「スマホの基本とLINEの体験」を実施しました。三咲公民館において開催するデジタルデバイド講座は、主に基本操作を実施しますが、参加申込者が定員を大きく下回る応募になることはなく、未だにニーズが高い講座となっております。

次に、複数対象事業です。三咲児童ホームとの共同事業で「助産師さんのベビーマッサージ」を記載のとおり実施しました。

「第35回三咲公民館文化祭」を記載のとおり実施し、当日は三咲公民館の文化祭としては珍しく、2日とも雨が降ることがなく開催できましたので、多くの方が来館されました。

報告5をお願いいたします。「おもちゃの病院」を記載のとおり実施し、12月14日の利用者は3名、男1名、女2名、依頼件数は4件でした。

船橋市内の他の公民館においても実施している「サークル活動自由見学ウィーク」を、三咲公民館におきましては、社会教育関係団体に加え、協力を得られました一般団体も参加してもらい、記載のとおり実施しました。

三咲児童ホームとの共催事業で「英語であそぼう」及び「卓球開放」、報告6の「図書コーナー運営事業」は、記載のとおり日程で実施しました。

空欄となっている参加者数等ですが、「卓球開放」の12月13日までの参加者は33名、男

9名、女24名、「図書コーナー運営事業」の12月15日までの利用者は30名、貸出冊数は46冊でした。

三咲公民館からの事業報告は以上となります。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、松が丘公民館さん、お願いします。

○松が丘公民館長

松が丘公民館でございます。9月17日から12月16日までの事業報告について、新規事業中心にご説明させていただきます。

まず初めに、報告1ページの青少年事業です。「ふなばしハッピーサタデー事業」、こちらの10月19日は、船橋市のスポーツ推進委員考案のダレッチボールというものを実施いたしました。名称の記載はシに点々なのですが、正しくはタチツテトのチになります。申し訳ございませんが、修正をお願いいたします。こちらの事業については、チラシなどの周知では「謎のスポーツ ダレッチボール」と題して、対象を小学校1年生から6年生までで募集させていただきましたが、何分、ゲームの内容が分かりづらかったようで、応募が思ったほどは増えませんでした。当日は、全員が初めての体験ということでしたが、審判のスポーツ推進委員さんからルールの指導を丁寧に受けながら、飛び入りの保護者の方々とともに、和気あいあいと汗を流したひとときとなりました。

続きまして、報告1の2段目です。「クラブ活動支援事業」になります。12月11日の参加者数を申し上げます。全体で38名、男22、女16です。

そのほかの青少年事業は記載のとおりとなります。

続きまして、成人事業です。報告2ページの下をご覧ください。新規事業の「そば打ち体験講座」になります。こちらは、定員15名を超える応募をいただきまして、キャンセルに5人待ちとなる人気の講座となりました。実際には、参加者数としては14名となりました。講座には社会教育関係団体の松が丘手打ちそばの会の方を講師としてお迎えし、当日は、各組に会員1名以上のサポート体制の丁寧な指導をいただき、参加者の満足度も非常に高く、講座の成功に大きく貢献していただきました。そば打ちの魅力をお伝えしていただくことはもちろん、地域の方々が文化活動に参加するきっかけづくりや、参加者同士の交流、ひいてはコミュニティーの活性化に寄与することから、今後も事業を継続してまいりたいと考えております。

続きまして、報告3ページ上段「松が丘粋生き講座～素敵に生きよう今日から明日へ～」です。地域の皆様方が、生活の中で生き生きと暮らすためのきっかけとなる学習機会を提供しております。全3回の講座のうち、1回目は歴史に関する座学、第2回目は気功の体験と体操、そして今度、3回目も開催しますが、ハーブのコンサートを計画しており、先日で2回目まで終了しております。12月13日（金）の参加者数を申し上げます。全体で29名、男

性が7、女性が22でございます。ご記入をよろしくお願いいたします。

次に、報告3ページ下の「有償ボランティア講座」になります。こちらの参加者数ですが、全体が9名、男2、女7となっております。こちらは、昨年度の新規講座ということで定員を上回る応募があったので、今年度は週末開催とし、申込受付を電話、オンラインで幅広い世代をターゲットに募集をかけましたが、実際には定員の半数にとどまる結果となりました。講座内容は、「有償ボランティアとは」から始まり、子育てサポート、高齢者介護支援事業を中心に、講師の実体験を織り交ぜながら、様々な有償ボランティアの活動を紹介していただきました。質疑応答では、参加者から多数の質問が寄せられ、興味・関心の高さがうかがわれましたが、受講後、登録が必要で、すぐにボランティア活動を行えないということに受講者の中でがっかりされる方も見受けられ、アンケートでの満足度はあまり伸びなかったことが残念でした。次年度は、タイトルの表現や講座内容の周知方法など、広報の改善を図り、申込の際に具体的にイメージを持っていただけるよう、講師側と検討してまいりたいと思います。

そのほかの成人事業は、記載のとおりです。

次に、高齢者事業になります。報告4ページ下「シルバーリハビリ体操：特別コース」、こちらは全市で取り組んでいるシルバーリハビリ体操教室事業の月1回の運動では物足りないという受講者の声を受けて、松が丘地区スポーツ推進委員との共催により独自で実施している事業になります。椅子を使用した軽体操を行う市のシルバーリハビリ体操との差別化を図り、和室を使用して、寝たきり予防の体づくりと筋トレなどを柔軟性の向上などに役立てていただくことにしております。実際に、体操は高齢者向けの無理のない安心して取り組める内容ではありますが、畳に座ること自体、足腰が痛い、つらいなどの身体的な理由、あとは、開催日が不定期であることも日程が覚えづらいということで、館内掲示や集リハ終了後のアナウンスで随時お知らせしておりますが、なかなか定着しづらい現状でございます。少しでも多く集客できるよう、周知に工夫をしてみたいと考えております。

続きまして、報告の5ページ、中段の「高齢者仲間づくり支援事業 ふれあいサロン」、12月12日の参加人数を申し上げます。全体で6名、男0、女6です。

そのほかの高齢者事業は、記載のとおりでございます。

続きまして、複数対象事業です。報告5ページの下段「おはなし会」、こちらは松が丘公民館の社会教育関係団体、エルマーおはなしの会の方々にご協力いただき、児童ホームを会場に実施しております。11月14日は1組で2名の参加ということで、参加者数が非常に少なかったのですが、理由として考えられますのは、この日程がたまたま近隣のイベントと重なってしまったようでした。特にイベントの多い10、11月は、周辺施設の事前のリサーチが必要と、共催の児童ホームからも同様の意見がございました。

続いて、報告6ページ「福祉まつり」でございます。松が丘地区社会福祉協議会と共催の福祉まつりは、今年で22回を迎え、開催時間は10時から13時という3時間の短時間ではあ

りましたが、天候に恵まれ、近隣の小中学生や地域のたくさんの方にご来場いただき、発表は各ブースでの体験、交流を楽しんでいただくことができました。中でも、社会福祉協議会のボランティアの方々と中学生ボランティアが協力して展示ブースを運営されていて、社協ボランティアの方々も反省会の中でとても喜ばれていらしかったのが印象的でした。今後も、社会福祉協議会と連携・協力しながら、地域の課題共有と改善に努めてまいりたいと思います。

続いて、報告6ページ下「オール古和釜ミニコンサート」でございます。このコンサートは、先ほどの福祉まつり内でのイベントとして、平成30年度から公民館を会場に始めたものです。コロナ禍を経て、これまでは近隣の幼稚園、小・中・高校の子供たちを主体とするコンサートでしたが、今年度は実施形態を見直し、「松が丘・古和釜地区で活動する団体」と改め、地元をより意識したイベントとして企画いたしました。出演は、古和釜小学校音楽部、古和釜中学校吹奏楽部のほか、松が丘公民館の社会教育関係団体、楽遊集さくら太鼓、コーラスのアンサンブルすずめの2団体と、古和釜小・中卒業生でシンガーソングライターのLiCaCoさんの5組へ出演を依頼。幅広いジャンル、年代の方々に生演奏、歌声を披露していただき、出演団体の共演も実現するなど、会場は盛り上がりを見せました。子供たち、保護者、地域の多くの方々が集まったコンサートでは、地域コミュニティの結束やにぎわいによる地域の活性化、かつ「ふるさと船橋・松が丘」に子供たちが誇りを持ってもらえる機会になったのではと考えております。

次に、報告7ページ上「子育て支援事業 おひさま」、12月10日の参加者数の記載をお願いいたします。全体は6名、男2、女4でございます。ご記載のほう、よろしく願いいたします。

続いて、下段の「松が丘ハートフルコンサート」です。こちらは、生涯学習コーディネーターとの共催事業になります。今回は、モンゴル出身の演奏者をお招きした馬頭琴のコンサートということで、多くの方がなじみのない楽器の音色を鑑賞し、良質な演奏に親しんでいただきました。アンケートの評価でも、「大変よかった」、「よかった」と回答者全員から高評価をいただきました。来場者からは「馬頭琴の懐かしい音色が温かく、モンゴルの情景が目には浮かんだ」、「異文化に触れられた」、「初めて聞いた音色のすばらしさに感動した」など、好意的な感想が多く寄せられました。今後も、馬頭琴を含む伝統楽器など、公民館での鑑賞機会の提供ができるよう情報収集し、検討してまいりたいと思います。

次に、8ページをご覧ください。「松が丘公民館サークル文化祭」です。11月9日、10日で実施しました文化祭は両日とも天候に恵まれ、昨年度より多くの来館者が訪れました。全ての社会教育関係団体が発表・展示、模擬店、警備、広報のいずれかを担当していただき、文化祭を運営する形態を取っておりますが、団体の皆さんがとても協力的で、地域の方々が集う文化祭として、充実したものとなりました。

次に、下段の「親子クリスマス会」、12月13日の人数を申し上げます。全体で81名、男

29、女 52 です。

最後に「卓球開放」、12 月 13 日の参加人数を申し上げます。全体で 15 名、男 8、女 7 でございます。

そのほかの複数対象事業は記載のとおりでございます。

松が丘公民館からの事業報告は以上です。

#### ○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、坪井公民館さん、お願いします。

#### ○坪井公民館長

坪井公民館の事業報告、9 月 17 日から 12 月 16 日をご説明させていただきます。主だった事業を中心にお話しさせていただきます。

青少年事業の「ふなばしハッピーサタデー事業」でございますが、9 月はプラバン工作を、10 月はハロウィンにちなんだ小物づくりを、11 月は土器に触れる体験と土器の文様を写したしおりづくりを行いました。

続きまして、「ハロウィンお楽しみ会」ですが、ハロウィンの時期に合わせて、地域の子供たちを対象に、公民館と児童ホーム、双方を会場として各部屋を回り、様々な催しにチャレンジしました。運営には小学生から大学生までの多くのボランティアが参加、協力してくれました。児童ホームとの共催で実施した事業でございます。

次ページの「地域防災講座」でございますが、毎年テーマを変えて実施しているものでございます。今年度は「非常食を作って食べてみよう」をテーマに、実習を中心に実施いたしました。前半は、災害が発生し、停電・断水が発生したとき、実際に役立つ生活の知恵等について学びまして、実習では、特殊なビニール袋に米と水を入れ、お湯で煮るだけの炊飯方法を体験したり、ビニール袋に食材を混ぜ、煮るだけのおかずづくりに挑みました。町会・自治会の関係者が多く参加していたためか、メモを取るなど、皆、真剣な面持ちで参加し、質疑応答でも積極的に質問が出ており、この地域の防災に関する意識の高さを感じました。

続きまして、「坪井公民館本館家庭教育セミナー」でございます。坪井地区では、小学校の保護者を対象とした本館家庭教育セミナーを 3 回シリーズで実施いたしました。第 1 回は、図書館から借りた子育てに関する書籍を 100 冊程度展示し、自由にご覧いただく、子育て本展示フェアを実施いたしました。2 回目は、命と性の話をテーマに保護者がどのように子供に接していくかについて学習いたしました。参加者からは質問が途絶えず、予定時間を 30 分ほど延長して終了しました。3 回目は、親子でパンづくりを体験いたしました。講師が、参加した親子の進捗状況をしっかりと把握しながら指導してくれたおかげで、おいしそうなパンが完成し、うれしそうに持ち帰る子供たちの姿が印象的でした。3 回目の参加人数のご記入をお願い申し上げます。計 16 名、男 1、女 15 でございます。

次のページの「就学時健診等における子育て学習」、高齢者事業の「介護予防教室 健康キ

ープ体操」につきましては、ご覧のとおりでございます。

次のページの「坪井みのり学級」につきましては、12月13日の参加者のご記入をお願い申し上げます。計40名、男4、女36でございました。

続きまして、次の「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」につきましては、ご覧のとおりでございます。

続きまして、複数対象事業といたしまして「親子でいっしょに体験講座」を実施いたしました。この講座は、子育て世代の成人と子供を対象に、学びと親子の交流を目的として実施いたしました。1回目は、講師からイラストレーターのお仕事についての話があり、続いて、各自が考えたキャラクターを作画し、ケースに入れてキーホルダーを作成いたしました。思い思いの個性的な作品が仕上がりました。2回目は、親子でウインナーの飾り切りに挑戦し、動物や花の形にウインナーを造形いたしました。様々な作品が仕上がりと親子の絆を深める2日間になったものと認識しております。

続きまして、次のページの「坪井公民館文化祭」でございますが、今回で第11回目となります。公民館利用団体にとって待望の文化祭であり、日頃の活動の成果を發揮できたものと感じております。また、飾りつけや受付、整理、後片づけ等の担当をスタッフ部門として募集し、お手伝いいただきました。また、障害者就労施設の物品販売を好評の下行えたこともよかったと感じております。全体的に、「文化祭に参加できてよかった」等の声が多かったです。

次の「子育て支援事業」の「ハーブコンサート」と「絵本LIVE」はご覧のとおりです。

次ページでございますが、「つばい・水と緑のコンサート」では、ピアニストの浅見陽子さんとソプラノ歌手の高原亜希子さんによるクリスマスコンサートを実施いたしました。参加者のご記入をお願い申し上げます。計98名、男19、女79名でございました。

続きまして、「おはなしいろえんぴつ」と「おもちゃの病院」につきましてはの内容は、ご覧のとおりでございます。

坪井公民館の事業報告は以上でございます。

#### ○朝隈委員長

ありがとうございました。

それでは、議事(1)につきましては、ご意見、ご質問等、何かございますでしょうか。何かありましたら、公民館名とページ数をお願いいたします。

#### ○金子副委員長

それでは、小室公民館の文化まつりについて、ちょっとお尋ねしたいのですけれども、小室公民館というか、公民館全部なのですが、久々に本格的に今年はできて、また、天気もよくてよかったなと思っています。

コロナ禍で停滞していた時期に、文化祭が再開できたときにはどうしようかなということも思っていたと思います。問題があれば、そこをこういうふうに解決していこうかなという

ことで、それが具体的に表れていたのが小室の、例えば、展示する場所を変えて動線をつくっていくとか。今まで、ここはここの団体がというような既得権のようなものもあったと思います。それから、発表の中で、子供たちが非常に少なかったので、子供たちのサークルとか、そういうものを発表のプログラムに入れたとか、具体的に非常に分かりやすかったのですが、その中で、ものを変えるとすると何かと問題が起きるのではないかと。その辺で苦労したことがあればちょっとお聞きしたいのですけれども。

#### ○小室公民館長

小室公民館は実行委員会形式で、それぞれ、展示の部門だったら展示の部門で皆さんが話し合っただけで形づくっていきける。発表も、発表の皆さんで話し合っただけで決めていっていただいているということで、そういう意味では、公民館としては、苦労があるというよりは、皆さんでいろいろ知恵を出し合っただけでやっていただいているので、そこがうまく機能しているのかなとは思っています。公民館で苦労しているのは、スペースが少ないので、展示が本当に限られてしまうというところが一番苦労しているところですかね。

#### ○朝隈委員長

すみません。私が実行委員長なので、何とも言いようがないのですが、学校に行って子供たちの出演を促してくれとか、いろいろ私のほうから言いましたので、公民館の皆さんは多分苦労されたと思います。でも、その成果もあって、子供たちが結構参加してくださったり、出展してくれる人たちもそんなにうるさい人はいなくて、ここをこうしましょうと言うと、いいですよみたいな感じでやってくださったので、結構うまくいったかなとは思っていますけれども、公民館は苦労したのではないかと思います。私もきっといろいろなことを言いましたので。すみません。ありがとうございます。

それから、私のほうからちょっとよろしいですか。目標、計画の中に人数が30名とか36名と皆さん計画されていて、実際、開けてみたら4名だの5名だのというところが結構この中にあるのが見受けられます。計画だから人数はこれだけというふうにするのは構わないのだけれども、あまりにも開きがあると、これは何でこんなに来なかったのかなというふうに感じました。

それと、松が丘公民館さんの文化祭、福祉まつりはすごい人数で、1日で4,000くらい。福祉まつりが4,000くらいでしたか。文化祭も2日で4,000ぐらいいましたよね。ということは、人口密度があるということ。ということは、いろいろな事業に対してもっと呼びかければ、参加者が増えるということと考えるといいのかなとちょっと思いました。人口がこれだけの動きがあるのであれば、もうちょっと声をかければ、宣伝でもすれば、利用者が増えるのかなと思いました。

そのほかに、何かございますでしょうか。

では、ほかにご意見、ご質問等ないようであれば、議事(1)につきまして承認するものとしてよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○朝隈委員長

では、異議ありませんので、議事(1)「事業報告(令和6年9月17日～12月16日)」につきまして、承認することといたします。ありがとうございました。

それでは、議事(2)に移らせていただきます。「事業計画(令和6年12月17日～令和7年3月31日)」についてです。各公民館長から説明をお願いします。なお、ご意見、ご質問等につきましては8公民館の説明終了後に受けたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、北部公民館さんからよろしくお願いします。

○北部公民館長

北部公民館です。12月17日から3月31日までの事業計画についてご説明いたします。

まず、計画1「子どもまつり」になります。北部公民館では初めての開催となります。一昨年、昨年と、夏休みの期間に夏祭り、縁日を開催したところ、親子の参加や中学生のボランティア協力もあったことから、地域交流の一助になることを期待し企画したところでございます。内容としましては、簡単なゲームコーナー、近隣の豊富高校による読み聞かせコーナー等を予定しております。また、青少年相談員、生涯学習コーディネーターの参加も予定しております、世代交流につながることも期待できます。

続きまして、次ページになります。成人事業「農家の味噌作り体験」、こちらも北部公民館で初めての開催となります。生涯学習コーディネーターの発案となりまして、地域の資源を生かした事業ということになります。近隣の農家の方に協力をいただきまして実施する形となります。

続きまして、計画3「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」になります。こちらは、健康づくり課との共催事業となります。なお、こちらは前回、金子副委員長からシルバーリハビリ体操指導士の講習会の人数を聞かれまして、主催している健康づくり課に確認したところ、定員10名に対して応募が14名あったということです。先週の金曜日に養成講習会がありまして、ちょっと見学させていただいたのですが、市内の広い地域、宮本、前原とか、塚田のほうからも実際に参加しておりまして、皆様、真剣に取り組んでいる姿が見られまして、関心の高さもうかがえます。指導士を積極的に増やしていきたいということも、所管課の健康づくり課のほうから意見を聞いています。

その他の計画については、記載のとおりとなります。簡単ではございますが、北部公民館からの事業計画となります。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、二和公民館さん、お願いします。

○二和公民館長

二和公民館の12月17日から3月31日までの主な事業計画についてご説明いたします。

まず、青少年対象につきまして、「ふなばしハッピーサタデー事業」を記載のとおり実施予定です。

次の「書初め教室」は、船橋二和高校書道部顧問の先生と部員の指導により、冬休みの宿題に合わせて実施することから毎年好評を得ている事業であり、今回で4回目となります。

次に、成人対象です。最初に「二和小学校PTA家庭教育セミナー」です。こちらは、保護者を対象とした事業を開催いたします。

次の「デジタルデバインド対策事業」は、全3回のうちの最終回になります。

次の「二和のまちづくり推進事業」ですが、今年度は船橋市消費生活センターの消費生活相談員を講師に迎えての消費者講座となります。こちらの記載ですが、説明のねらいの解説中、括弧書きで「防犯」となっていますが、こちらは「消費生活」の間違いですので、おわびして訂正いたします。

次のページに移りまして、高齢者対象です。「二和寿大学」、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は記載の内容で予定しております。

次のページに移りまして、複数対象です。全て記載のと通りの予定となっておりますが、次のページの「第16回北部市民ウォーク」は、三咲駅をスタートして、船橋北高校方面に向かって、八木が谷と高野台の間を流れる二重川を回り、北部地区の自然景観と歴史に触れながら、ゴールの二和公民館まで約7.5キロのウォーキングを実施します。

次に「二和劇場」ですが、1月は真打の三遊亭遊雀師匠を招いて、「初笑いふたわ寄席」を開催します。こちらは、チケット販売1週間で、全349席完売となりました。また、2月はふなばし音楽フェスティバルの地域ふれあいコンサート事業としまして、ピアニストの高木しおりさんを招いて、「春を待つピアノの調べ」を開催します。

最後に、次のページに移りまして、北図書館との共催事業になります「バリアフリー映画観賞会」です。こちらは、視覚や聴覚に障害のある方だけでなく、どなたでも参加いただける形を取っての開催となります。

二和公民館からは以上です。

#### ○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、海老が作公民館さん、お願いします。

#### ○海老が作公民館長

海老が作公民館の事業計画について、主だったものをご説明申し上げます。

まず、青少年事業でございますが、「ふなばしハッピーサタデー事業」を、2月と3月に行います。3月は「大穴地区子どもフェスティバル」といたしまして、大穴地区の青少年関係団体でつくる青少年事業実行委員会と一緒に実施いたします。

次に、成人事業でございますが、「デジタルデバインド対策事業」、「異文化体験講座」、「えび

がさくサークル一日体験講座」を実施いたします。異文化体験事業は、タイ王国について今回は取り上げ、座学とスイーツの製作ということで、異文化を体験していただくということになっています。

次に、ページが変わりまして、計画の2ページでございます。高齢者事業でございますが、「海老が作寿大学」、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」、「いきいきサロン『花梨』」、この「花梨」については、大穴地区の社会福祉協議会のご協力を得て実行してまいります。

次に、ページが変わりまして、計画の3ページでございます。複数対象事業でございますが、「ファミリー卓球」、それから、「巡回児童ホーム事業」の「0.1.2歳ぽかぽか広場」は1歳から2歳のお子さんを対象としたもの、それから、「小学生わくわくタイム」は小学生を対象としたものでございます。「子育てプレイルーム」は、社会福祉協議会さんのご協力ということで実施してまいろうと考えております。

以上、簡単ではございますが、事業計画でございます。

#### ○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、小室公民館さん、お願いします。

#### ○小室公民館長

小室公民館の主な事業計画について、ご説明いたします。

まず、青少年対象として「ふなばしハッピーサタデー事業」です。2月1日に、千葉県立現代産業科学館に講師をお願いして「スノードーム制作」を行います。雪を科学的につくったり、合成のりと水の割合で雪の降る速さが変わることなど、科学について学びながら制作いたします。

続きまして、成人対象事業です。「デジタルデバイド対策事業」として、「LINEの体験」と「キャッシュレス決済」の講座を実施します。

また、「メルカリ教室」も記載の内容で開催いたします。出品体験を通して、循環型社会について考えるきっかけとなればと考えております。

高齢者対象事業につきましては、計画2、3ページになります。記載の内容で開催いたします。

複数対象事業につきましては、計画3ページ、「小室公民館本館家庭教育セミナー」として、千葉大学落語研究会の学生に来ていただき、親子で落語会を実施します。子供たちと年齢の近い大学生に来ていただくことで、親近感を持って親子で落語に親しんでもらえたらと考えております。

そのほか、地域の方が例年楽しみにしていて人気がある「小室地域ふれあいコンサート」を開催いたします。元小学校・中学校の校長3人で活動しているバンド、レジェンズさんに、フォークソングやビートルズなどの名曲を演奏していただきます。令和元年にお願いしていたのですが、コロナ禍で実施できなかったため、今年度、再度演奏していただくことになり

ました。

ほかに、小室児童ホームと共催で「幼児クリスマス会」、「親子ヨガ、セルフマッサージ」を実施します。親子のふれあいの場として楽しんでいただくとともに、保護者同士の交流の場となればと考えております。

小室公民館の今期の計画については以上でございます。

#### ○朝隈委員長

ありがとうございます。

次に、八木が谷公民館さん、お願いします。

#### ○八木が谷公民館長

八木が谷公民館の12月17日から3月31日までの事業計画を説明させていただきます。

最初に、青少年対象の「ふなばしハッピーサタデー事業」でございます。12月にはクリスマスパーティーを実施いたします。青少年相談員によるクリスマスリースづくりやゲームを行います。2月にはLEDのミニライト、3月にはけん玉実習を実施いたします。

続きまして、「書き初め教室」でございます。書き初め体験を通して、文字を書くことの楽しさと、豊かな情操と人間性を育むことを目的として行います。

続きまして、「おひなさま手まり作り」でございます。こちらも伝統文化の体験を目指すものでございます。

続きまして、計画2ページ、高齢者対象の「介護予防事業 生き生きと若々しく過ごすための教室」でございます。介護予防に資する基本的な知識の普及啓発をするため、フレイル予防や認知症予防、ロコモ予防を実施するものでございます。

続きまして、計画4ページ、複数対象の「地域ふれあいコンサート」でございます。こちらは、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルンの木管五重奏で、船橋チェンバーアンサンブルにより懐メロヒットメドレー等のコンサートを行う予定でございます。

簡単ではございますが、八木が谷公民館は以上でございます。

#### ○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、三咲公民館さん、お願いします。

#### ○三咲公民館長

三咲公民館の12月17日から翌年3月31日までの事業計画を説明いたします。

青少年対象事業の「ふなばしハッピーサタデー事業」は、2月にこどもまつり、3月にオリジナルスノードームづくりを実施いたします。2月のこどもまつりでは、模擬店に三咲公民館にて活動しているボーイスカウト、ガールスカウトに加え、こども食堂を実施している団体へも参加を呼びかけております。

次に、成人対象事業です。「本館家庭教育セミナー 三咲子育て応援セミナー」は、三咲児童ホームと共催で、「音楽であそぼう」と題し、音楽に合わせたリトミックを実施いたします。

「100年時代を生き抜くりカレント～新しい可能性に気づこう～」は、50代、60代の方を対象に、グループワークを通じて、これから人生で進む道を自ら導き出す『きっかけ』にしてもらいたいという思いで実施いたします。

サークル活動の応援講座として、三咲公民館で活動している社会教育関係団体、三咲絵手紙サークルの講師の方を迎えて、「サークル応援講座 絵手紙教室」を実施します。一人でも多くの方に興味を抱いてもらい、サークルに加入なさることを期待しております。

計画2をお願いします。毎年好評な事業である「自然観察ウォーキング」を、今年度も実施いたします。今回は船橋市北部地域の散策を行い、ウォーキングを通じて健康向上を図ります。

次に、高齢者対象事業です。「三咲寿大学」では、12月に映画鑑賞、1月に新春落語として、落語家の三遊亭鳳志さんと講師の田辺いちかさんをお招きして落語と講談を、2月は閉講式とハーブのコンサートを実施します。1月の新春落語は公開講座にて、受講生以外の方にも参加してもらい実施する予定です。

「ふなばしシルバーリハビリ体操教室 第2金曜コース」及び「第3金曜コース」並びに計画3の「デジタルデバイド対策講座」を記載のとおり実施いたします。

次に、複数対象事業です。「Winter Concert in MISAKI」では、社会教育関係団体、ロマンツァマンドリーノアンサンブルを招き、マンドリンとギターによるコンサートを実施します。

「助産師さんのベビーマッサージ」及び「英語であそぼう」を、記載のとおり、三咲児童ホームと共催で実施いたします。

「国際交流講座」では、昨年度実施し好評だった、一般社団法人アジア芸術文化促進会の王文強さんを講師に迎え、演者が素早く面を変える変面ショーを通じ、中国の伝統文化から異文化交流を実施いたします。

計画4をお願いいたします。その他の複数対象事業として、引き続き「おもちゃの病院」、「卓球開放」、「図書コーナー運営事業」を記載のとおり実施します。

三咲公民館の事業計画は以上となります。

#### ○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、松が丘公民館さん、お願いします。

#### ○松が丘公民館長

松が丘公民館でございます。12月17日から3月31日までの事業計画について、ご説明させていただきます。

計画1 ページ、青少年事業の「ふなばしハッピーサタデー事業」では、12月21日に書き初めを予定しております。今年も、船橋古和釜高校の書道部さんと、芸術授業で書道を専攻している生徒さんに講師としてご協力いただき、小学3年生以上を対象に公民館で実施の予定としております。

その他、青少年事業は記載のとおりとさせていただきます。

次に、成人の事業です。計画1ページ下「松が丘粋生き講座～素敵に生きよう今日から明日へ～」の3回目は、新春のハーブのコンサートとして公開講座で実施いたします。講座の対象者30名に加え、1月当初から先着70名を追加募集という形で、多くの方々に鑑賞していただけるよう、実行委員の方々と準備を進めております。

その他、成人事業は記載のとおりでございます。

計画2ページをご覧ください。こちらの最後になります。「健康ウォーキング講座『木戸川健康ウォーク』」は、地域の特に高齢者に人気の講座で、これまで、松が丘地区スポーツ推進委員会の単独主催であったものを、今年度から公民館と共催で開催することといたしました。スポーツ推進委員さんと調整し、申込不要であることと、定員を、今、記載が15名とありますが、30名に増員ということで変更いたしました。修正をお願いいたします。木戸川の河川改修工事により遊歩道が整備されました地域を皆様方と散策しながら、春先の桜や菜の花を愛で、周辺の石碑などから地域の歴史的な出来事や人物に関する情報を知り、文化や歴史に触れる、そのような素敵な春の楽しみ方を体験していただければと思います。

続きまして、高齢者事業に入ります。計画の3ページ上「松が丘寿大学」です。2月は、シニアダンスの講座として、ダンスインストラクターを講師に迎え、高齢者の健康づくりや認知症予防に効果的な運動を通して、寒い時期で在宅になりがちな皆様のリフレッシュになるよう、楽しく踊る機会ができればと思っております。

その他、高齢者事業は記載のとおりでございます。

続いて、複数対象事業です。計画の5ページをご覧ください。5ページ上の「古和釜アートミュージアム」は、2月に開催することもまつりの日程に合わせて開催期間を設定いたしました。現在、古和釜高校、古和釜中学校へ出品を依頼し、展示の調整を図っております。

その他、複数対象事業は記載のとおりでございます。

松が丘公民館の事業計画は以上です。

#### ○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、坪井公民館さん、お願いします。

#### ○坪井公民館長

坪井公民館の事業計画につきまして、ご説明させていただきます。

最初に、青少年事業「ふなばしハッピーサタデー事業」でございますけれども、12月は書き初め教室、1月はマジック講座、2月は折り紙教室を実施する予定でございます。3月1日(土)のこどもまつりですが、つばいハッピーサタデーで実施する予定です。

次の「科学って楽しいな」につきましては、講師を日本大学の教授にお願いし、小学生の親子を対象に、日本大学のミュージアムの見学とワークショップを行う予定でございます。

続きまして、次のページ、成人事業です。「多文化共生『異文化コミュニケーション講座』」

ですが、1回目は中国の文化や生活様式について座学で学び、2回目は中国料理の調理実習に挑みます。異国の文化に触れることで、国際理解について正しく学ぶことができる学習機会を提供するものでございます。「好吃（パオチー）」は、おいしいという意味だそうです。

次に、「坪井の歴史講座」は毎年楽しみにしている方がいる講座で、今年度も地域の語り部である黒澤先生と岩佐先生に、郷土史について座学と散策でご教示いただく予定でございます。

次の「有償ボランティア講座」につきましては、リカレント教育の一助として実施するものでございます。松が丘公民館で実施したものに準じて実施するものでございます。

次のページでございますが、「木育講座」を2回シリーズで実施いたします。1回目は、SDGsの観点から森林保護の取組について学び、2回目は、廃材を使った木工のワークショップを行います。

次の「坪井みのり学級」、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」はご覧のとおりでございます。

次のページ、複数対象事業でございますが、「新春コンサート」はギタリストの橋爪晋平さんとサクソ奏者の山上祐子さんにご出演いただき、コンサートを開催するものでございます。

続きまして、「子育て支援事業『ハーブコンサート』」、「子育て支援事業『絵本LIVE』」、「おはなしいろえんぴつ」、次のページの「おもちゃの病院」につきましては、資料のとおりの日程、内容で実施する予定でございます。

坪井公民館の事業計画は以上でございます。

#### ○朝隈委員長

ありがとうございました。

それでは、議事（2）につきまして、ご意見、ご質問等、何かございますでしょうか。

#### ○金子副委員長

まず、北部の館長に、シルバーリハビリ体操の指導士の講習会ですか、ありがとうございました。シルバーリハビリ体操の指導士会についてはよく分からないのですが、前回行われた講習会というのは北部公民館で開催して、参加した人は恐らく北部ブロックの中のそれぞれ地域で参加したのかなと思うのですけれども、資格を取って指導士会に入ると、その地域、地区に戻って、公民館であったり、健康づくり課であったり、社会福祉協議会の要請があつて、公民館のシルバーリハビリ体操教室に指導士として活動するのかなと。ちょっと回りくどくなってしまったのですが、要は、今回行われた講習会が北部ブロックの中のそれぞれの地区の人たちの参加によって開催されて、それがまた地域に帰って活動していくということで、これは船橋のほうで行われるとなかなか参加しづらいなと思っている人たちが参加できたのかなということで、1回に限らず、また今後も続けていってもらえたらいいなと思います。

指導士がどんどん増えている一方で、実は指導者が足りなくて今までのような活動ができない、だから半分にしたいのだけれども、というところも実際はあります。ですので、参加者が増えていく、指導士が増えていくというふうになるには、やはり講習会のようなものを継続してもらえればと思います。

館長、どうもありがとうございました。

○北部公民館長

いいえ。こちらとしても、所管課のほうにも声かけをして、参加者の方、指導士の方とお互いウイン・ウインの形になるように努力してまいります。

○朝隈委員長

ほかにございませんでしょうか。

私のほうから、松が丘公民館ですけれども、「シルバーリハビリ体操教室」と「シルバーリハビリ体操：特別コース」とございますよね。この特別コースというのは、特別な人でないと入れないのですか。例えば、どこか年齢差があるとか。

○松が丘公民館長

松が丘公民館でございます。

今、委員長からご質問いただきました特別コースというのが、どなたか限定した方ではないですかということだと思っておりますけれども、その日に自由参加で入っていただくということで、開かれた講座となっております。

先ほども実績の中で申し上げたのですけれども、月1回、市主催のシルバーリハビリ体操のほうは、講堂を使って、椅子を並べて、大体が軽体操ということで行うものです。「特別コース」という、名称が多分分かりづらくなってしまったのかなというのはあるのですが、スポーツ推進委員さんが主でやってくさっている年4回の講座については、和室を会場に、座位だったり、寝て動いたりということで、かなり体全体を動かすような活動になっていきます。ですので、運動の内容の差別化を図りたいということで、「特別コース」という名でお試しで今年度実施しました。名前をそういった形で作っているのも、特別な方が来るのかなという認識である方もいらっしゃるから、参加人数の差というのを生んでしまったのかなと。

○朝隈委員長

人数にすごく差があるので、入りにくいものなのか。例えば、特別コースをやってから普通のシルバーコースに行くのか、コースの中のあれなのかとか。指導者が違いますものね。指導者は一緒ですか。

○松が丘公民館長

同じ方々です。

○内久根委員

私は北部でやるシルバーリハビリ体操の指導士の養成講座の、もう一個、二個前で、今年、実は講座を受講していて、シルバーリハビリ体操指導士の講習の中で、椅子に座ってやるの

と、畳というか床の上にマットを敷いて、例えば、お布団のところから安全に立ち上がる起き方とか、それから、お布団に横になってできる筋トレとか、そういうもので、椅子に座ってやるのと、寝たままやるのと、2種類の指導の仕方をちゃんと習います。こういう講堂では床の上での体操ができないので、ふだん、講堂でやっているときは椅子を使うのだけれども、機会があればそういう指導もしますというようなことで、特別コースというよりも、畳の上コースとか、そういう名づけにしたほうが分かりやすいのかなとは思いますが、内容的にはそんな感じですよ。

○朝隈委員長

分かりました。畳の上でやるか、床の上でやるか。両方ともリハビリ体操には間違いないということですね。

○内久根委員

同じですよ。

○朝隈委員長

ただ、人数の差がすごくあるので、特別コースには入れないのかなと思いました。分かりました。ありがとうございます。

それと、二和公民館さんの内藤先生によるアコーディオンというのは何ですか。コンサートですか、講習会というのですか。何回かございますよね。1回だけではなくて。

○二和公民館長

こちらは、二和公民館の事業になっています。

○朝隈委員長

事業であれば、何回かあるのであれば、アコーディオンだけではなくて、いろいろなことを事業の中に取り入れていったらいいのではないかなと思ったんです。事業として外せないというのは内藤先生だけではなくて、今回はアコーディオンだったから、次は何の事業、何の事業と、こういうふうにはできないものですか。ずっと内藤先生で、事業というのはコンサートなのか。教えてくださっているわけでもないでしょう。アコーディオンを全員に持たせて教えているというわけでもないですよ。聞かせているというだけ。一緒に歌う、歌声喫茶みたいな。

○二和公民館長

そんな感じですよ。もともとは二和公民館から内藤先生に、こういう事業をやりたいのだけれどもという形で始まったのが由来だそうです。参加者から、こういう事業はほかの公民館では例がなく、初めてなので今後も引き続きやってほしいという意見が多くて、それで、実行委員会形式にして、公民館との共催事業「二和たのしい歌のつどい」という形で続けていきたいと思いますということで、今まで続けています。年6回あります。

○朝隈委員長

そうですね。回数が多いですよ。

○二和公民館長

アコーディオンだけではなく、音楽によってピアノで演奏したりアコーディオンでやったり、その都度季節に合わせて歌テーマを変えて大体 80 人近い方たちが毎回毎回楽しみにしているような形で続いてやっています。

○朝隈委員長

大体分かったような、分からないようなですけども、そういうものであれば、とっくにサークル化してもいいのではないかなと。例えば、この内藤先生に講師料というのは払われているわけですよ。

○二和公民館長

いや、共催事業なのでボランティアでやってもらっています。

○朝隈委員長

ボランティアで、全く先生のほうは無料で来てくださる。

○二和公民館長

謝礼金とかはございません。

○朝隈委員長

それはちょっと意味が違ってくる。

○二和公民館長

実行委員会形式なので、実行委員が受付や会場設営などをやったり、内容を考えたりしてやっていただいています。

○朝隈委員長

では、内藤先生は無料で来ているということ。

○二和公民館長

そうです。

○朝隈委員長

まあ、そう言われてみたら納得。でも、何かサークル化していったほうがいいのではないかなと思ったりしますけれども、随分長いこと続いてきていますよね。

○二和公民館長

そうですね。参加者も地域の方たちが多く、歌詞カードを見て一緒に歌い満足して帰られるという方たちなので、参加者たちでサークルをつくってとまでいくような形ではないと思います。

○朝隈委員長

なかなかならないと。サロンのことと言えば、高齢化しているから、歌を歌うというのは大変いいことなのではないかと思ったりしているのですが、何となく分かりました。サークルにしていってくればいかなと思いました。

それと、社会福祉協議会などと共催でやっている事業が皆さん結構ありますよね。そうい

う事業は、人数がめちゃくちゃ少ないところがあります。共催について理解していないのかもしれないですけども、共催したら相手にやらせっぱなしですか。一緒にやるんですよ。例えば、人数が少ないからどうしようかというふうにもいろいろ考えるのは、共催だから一緒にやっていたら、一緒にやっているということですよ。

○二和公民館長

二和公民館の例で言いますと、例えばミニデイは、年12回のうちの半分の6回を、二和公民館に登録している社会教育関係団体の協力を得て、例えば、今回で言うと10月が音楽鑑賞会でコーラス、12月が新舞踊の鑑賞会という形で、それぞれ出演するのは二和公民館の社会教育関係団体の方たちの協力を得て、社会福祉協議会のほうで人集めをしており、二和の場合は、講堂がそれなりに埋まるぐらいの状態になっています。

○朝隈委員長

分かりました。うんと少ないところもあるので、もし公民館が協力していただければ、もうちょっと人数を増やしていただければいいのかなと思いました。すみません、ありがとうございました。

そのほかに、何かご質問とか、議事(2)についてございませんでしょうか。

他にないようであれば、議事(2)につきまして、承認するものとしてよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○朝隈委員長

それでは、異議ありませんので、議事(2)「事業計画(令和6年12月17日～令和7年3月31日)」につきまして承認いたしました。ありがとうございました。

<議事3> 非公開の審議であるため、船橋市付属機関の会議の公開実施要綱第8条第3項の規定に基づき、記載を省略します。

○朝隈委員長

ほかに、今日の会議全体を通して何かございますか。

ございませんようなので、なければ、以上をもちまして、令和6年度第4回北部公民館運営審議会を閉会いたします。

午後4時54分 閉会